



# たけのこだよ!

令和6年 5月31日



子どもの森に蚊が飛び始めました。たけのこ内でも虫除けグッズを置いたり、掛けたり、噴霧したりと対策はしていますが、この戦いは今年も苦戦を強いられそうです。



さて、4月から入所されたお子さま達は2ヶ月が過ぎ、少しずつたけのこの生活に慣れ、朝パパやママと離れられずに泣く姿もなく、笑顔で登所して来るようになりました。特にあお組(年少)は、音楽やダンスの好きな子が多く、毎朝のたけのこ体操や活動プログラムでのリトミック、ピカピカブーの体操などに、はつらつと取り組む姿が見られます。ピンク組(年中・年長)では、あお組のお友達に優しく話しかけたり、寄り添ったり、一緒に遊んだりする場面も見られます。基礎運動では、一つの運動が終わると、マットに座って待てるようになってきました。心がほかほかする瞬間が毎日あちこちで見られています。もちろん一人ひとりに課題がありますから、泣いたり、怒ったり、けんかしたりする姿も毎日のように見られます。

私たちは一人ひとりの個別支援計画の遂行やそれぞれの場面での支援を繰り返し、少しずつ子ども達の成長を促し、小さな頑張りや成長に気づき、心から喜び合いたいと思っています。今後とも支援にご理解とご協力をいただけると嬉しいです。

## 《6月のカレンダー》



月	火	水	木	金
6/3	4	5 ☆ 歯みがき指導	6 歯みがき指導	7 ☆ 歯みがき指導
10 歯みがき指導 引き渡し訓練	11 歯みがき指導	12 ☆	13	14
17 水遊び開始	18	19 ☆ 誕生日会	20	21
24	25	26 ☆	27	28

☆印：公認心理師がおります。

## 《7月の主な行事予定》



17日(水)・18日(木)・22日(月)	避難訓練		
25日(木)	誕生日会	27日(土)	夏祭り

※27日(土)の夏祭りは親子参加の行事です。詳細は後日お伝えします。なお、夏祭りの振替休日はありません。29日(月)は通常通り開所いたします。

※入所から3ヶ月または6ヶ月の月に個人面談を行い、お子さんのご家庭やたけのこでの様子を伝え合ったり、個別支援計画の進捗状況や追加目標等についてお話ししたりする時間をもうけます。該当の保護者の方にはこちらから連絡いたします。



あお組では「小麦粉ねんど」を  
しました。サラサラの粉に水を  
入れたらまあびっくり！青くなったり、  
赤くなったり…。そしてコネコネ…  
粉がねんどにへんしーん！

《感覚遊び》

ピンク組では、「あじさいの花とカタツムリ」  
作りに取り組みました。花をクレヨンで塗り、  
カタツムリのからだを折り紙で作り、うずを書いて、  
最後はのりで貼って完成！

《製作（ぬる・折る・貼る）》

## 水遊びが始まります

『水に慣れる・親しむ・楽しむ』

6/17（月）から晴れている日は、毎日行きます。安全に配慮しな  
がら、お友達や保育者と一緒に楽しむ時間にしていきます。

保護者の方へのお願いです。朝の体温と朝食について忘れず連絡帳に  
記入してください。また、体調不良や下痢の時は、水遊びには参加せず、  
見学か室内で過ごします。水いぼや化膿している傷がある場合はご相談  
ください。右の持ち物をプールバック（市販の物OK）に入れてお子様に  
持たせてください。



《持ち物》

水着（ラッシュガードも可）・  
水泳帽・ラップタオル・  
ビニール袋（濡れた水着等を入れます）

## コラム

「お殿様・お姫様」にしていますか？



私は歴史小説が大好きで必ず車用、家用と2冊用意して並行読みをしています。時代は戦国時代や江戸時代が好きです。作家は、司馬遼太郎、佐伯泰英、上田秀人、高田郁、葉室麟等、作家によって表現の仕方や話の展開、同じ江戸時代でも前期、中期、後期によってもが違いがあり中な楽しいものです。マンガの本の需要は増えているようですが小説を読むとい機会が減っているようです。是非皆さんも機会を作って・・・申し訳ありません。少し今回のお話しようとしていることがずれたようです。

歴史小説の中には、「お殿様、お姫様」が登場します。この人たち食事、着物の着替え、洗顔、お風呂などみのまわりのことは必ず小姓（殿様の世話掛かり）、侍女（お姫様の世話掛かり）がいてお手伝いをします。自らやろうとはしません。（させないのかもしれませんがね）

誰かに似ていませんか？ 立場は違いますが、私はたけのこの子供たちとお父様、お母様をついつい連想してしまいました。子育ての中で「やり過ぎ・やってあげ過ぎ」をしていないでしょうか？私は療育の基本に「最小限の支援で最大限の効果」を目指して支援してきました。

私もついつい療育の中で関わり過ぎ、過干渉になってしまった時期がありました。信頼関係を早く築こうと考えたことからです。でもお父様、お母様たちは愛情をもって接していますのでお子さんとの関係はすでにできています。当時の私の焦りとは違います。大人は先達者として導くだけでよいのではないかと考えます。

しかし、私たち大人が「やり過ぎ・やってあげ過ぎ」はどのようなことになってしまうのか。その大人の行為、行動は自立を促すどころか大人への「依存心」や「執着心」を増長し、何もできない、我がままな子を作り上げてしまう結果になっているのではないかと思います。そうです。まさに「お殿様・お姫様」状態になっているわけです。

自分でできることを増やしていくその為には、時には甘えさせてあげることも必要です。「押さば引け、引かば押せ」のいい加減で子供と向き合うことが大切です。

最後に、大谷翔平氏がワールドカップ決勝のミーティングで言っていた「憧れることはやめましよう」ではありませんが「小姓や侍女になることはやめましよう。」をお願いしたいと思います。